# 農林水産業と食料問題 3回目

# 日本の農林水産業/食料問題 要点学習

QGT5D1-Z1J3-01

### 要点

#### 今回のPOINT

まず、日本の農林水産業について学習してから、この農林水産業との関係が深い食料問題について学習する。日本と諸外国とを対比させながら理解を深めよう。

- ▶ 日本の農林水産業の現状を理解する。
- ▶ 食料問題の世界的な状況を、発展途上国と先進国に分けて理解する。

## 日本の農林水産業

#### ◆日本の農牧業

#### (1)日本の農牧業の特色

#### ◎零細経営

- **家族経営**が中心で、経営規模は小さい。販売農家1戸当たりの経営耕地面積(2014年)は、 全国平均で2.2ha(北海道は23.4ha)。
- 近年、農業の法人化などにより、わずかではあるが、経営規模は拡大の傾向にある。

#### ◎集約的農業

• 狭い耕地に労働力や肥料・農薬を大量に投下し、高い技術により収量を高める集約的農業が行われており、土地生産性は高いが、労働生産性は低い。

#### ○農家の高齢化・兼業化

- 農家数の減少とともに、農業就業人口も減少している。
  - …農家数は1990年の383.5万戸から2015年の215.5万戸に減少し、農業就業人口は1990年の481.9万人から2015年の209.7万人に減少した。
    - ※農業就業人口は、満15歳以上の農家世帯員で、調査期日前1年間に農業に従事した者 (農業従事者)のうち、「農業のみに従事した者」と「農業以外の仕事にも従事したが、 農業の従事日数の方が多い者」の合計である。
- 農業労働力の高齢化が進んでいる。
  - …農業就業人口に占める65歳以上の割合(販売農家)は、1990年の33.1%から2015年の63.5%に上昇した。
- 都市化、機械化の進展に伴い、農業以外からの収入を得る農家が増加した。
  - …販売農家のうち、**副業的農家**が58.6%を占める(2015年)。 ※従来は、販売農家を専業農家と兼業農家に区分していた。

#### ▼農家の分類(1995年以降の区分)

販売農家		経営耕地面積が30 a 以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家
	主業農家	農業所得が50%以上を占め、65歳未満の農業従事60日以上の者がいる農家
	準主業農家	農業外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の者がいる農家
	副業的農家	農業外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の者がいない農家
自	給的農家	経営耕地面積が30 a 未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家

#### ◎稲作中心

- 食料(主に穀物)の安定供給を目的に、1942年に制定された食糧管理法に基づく**食糧管理** 制度により、政府が米の買い入れ価格を保証していたため、日本の農業の中心は稲作であった。耕地面積(450万ha)に占める田面積の割合は54.4%である(2015年)。
- 高度経済成長期以降、食生活の変化などで米の消費が減ると余剰米が生じるようになり、 1971年から政府は本格的に減反政策を実施した。
- 1995年の食糧管理制度の廃止,新食糧法(主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律) の施行に伴い、米の流通が自由化されたため、銘柄米の生産競争や輸入米との競合が激化 した。農業総産出額に占める米の割合は、1970年の37.9%から2014年には17.1%に低下した。

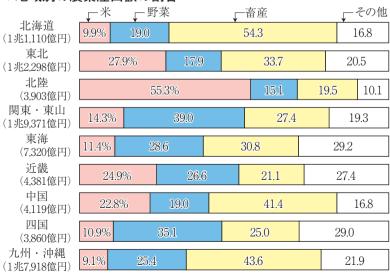
# → コラム 減反政策

政府による米の生産調整を減反政策という。当初は水田の休耕を奨励し、のちに他の作物への転作が進められた。2013年、政府は、2018年度中に減反政策を廃止する方針を決定し、農家が自らの経営判断で農作物をつくる農業の実現をめざしている。

#### ◎地域的特色

• 気候・地形などの自然条件や大都市までの距離などの社会条件の影響を受けて、地域ごとに特色ある農業が営まれている。大都市近郊では近郊農業、中央高地では抑制栽培、四国では促成栽培による野菜の生産が多い。

#### ▼地域別の農業産出額の割合



北陸は新潟県・富山県・石川県・福井県、東山は山梨県・長野県。

( )は農業産出額。統計年次は2014年。

農林水産統計による。

# ※ここに着目

- 水田単作の北陸・ 東北では米の割合 が高い。
- ・北海道と九州・沖縄では畜産の割合が高い。

#### ◎主な農産物の生産地(上位道県と全国に占める割合)

米の生産量*		小麦の生	主産量*		ジャガイモの 生産量		レタスの生産量		キャベツの 生産量	
新潟	7.8%	北海道	72.8%	北海道	78.0%	長野	33.5%	愛知	18.0%	
北海道	7.5	福岡	4.7	長崎	4.3	茨城	15.5	群馬	16.9	
秋田	6.5	佐賀	3.0	鹿児島	3.8	群馬	8.7	千葉	8.7	
山形	5.0	群馬	2.3	茨城	1.7	兵庫	5.9	茨城	7.0	
福島	4.6	愛知	2.1	千葉	1.2	長崎	5.7	神奈川	5.0	

リンゴの生産量		ミカンの生産量		ブドウの生産量		茶の生産量*		乳用牛の 飼養頭数*	
青森	57.3%	和歌山	19.9%	山梨	23.9%	静岡	40.0%	北海道	57.8%
長野	20.0	愛媛	14.7	長野	15.6	鹿児島	28.6	栃木	3.9
山形	6.4	静岡	14.3	山形	10.1	三重	8.6	熊本	3.2
岩手	5.7	熊本	10.8	岡山	8.2	宮崎	4.6	岩手	3.2
福島	3.4	長崎	7.4	福岡	4.8	京都	4.0	群馬	2.7

生乳の生産量		肉用牛の 飼養頭数*		豚の飼養頭数		肉用若鶏の 飼養羽数		鶏卵生産量	
北海道	52.0%	北海道	20.3%	鹿児島	14.0%	宮崎	20.8%	茨城	7.6%
栃木	4.3	鹿児島	13.0	宮崎	8.8	鹿児島	19.4	千葉	6.9
熊本	3.4	宮崎	10.0	千葉	7.1	岩手	16.1	鹿児島	6.6
群馬	3.3	熊本	5.0	北海道	6.6	青森	5.0	広島	5.3
千葉	3.0	岩手	3.6	群馬	6.4	北海道	3.6	岡山	5.0

統計年次は、\*は2015年、その他は2014年。

農林水産省資料による。

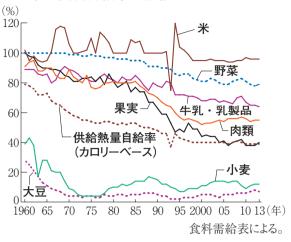
#### (2)日本の農業と輸入農畜産物

- 日本は、農業生産の維持と農家の保護のために、農畜産物の輸入を制限してきた。
- 1980年代後半以降,世界各国は日本に対して,GATT (関税と貿易に関する一般協定)の 最後の多角的貿易交渉であったウルグアイ=ラウンド (1986年開始,93年合意)を通して, 農畜産物の市場開放を要求してきた。
  - →1991年に牛肉・オレンジが輸入自由化され,95年に米も部分的に輸入自由化された (99年に関税化)。
  - ※GATTは貿易上の障壁をなくし、貿易を活発にすることを目的とした国際協定である (1948年発効)。1995年、WTO (世界貿易機関) に移行した。
- 日本の農家は品質・安全性の向上、規模の拡大による経営の効率化に努めるなどして、安 価な輸入農産物に対抗している。

#### 「見本」 高校コース 本科 要点学習 地理

#### (3)食料白給率の低下

- 日本の農畜産物は生産コストがかかるため、▼日本の食料自給率の推移 価格も高く、国際競争力が低い。そのため、 農産物の輸入量が増加して、食料自給率は 低下している。但し、主食である米の自給 率は高い。
- 畜産物は家畜のエサである飼料穀物を海外 からの輸入に依存しているため、真の自給 率はかなり低くなる。
- 2015年(概算)の穀物(食用+飼料用)自 給率は29%. 主食用穀物自給率は60%, 食 料全体の供給熱量自給率は39%である。



### ◆日本の林業

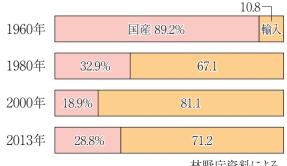
#### (1)日本の林業の特色

- 日本の国土の約3分の2を森林が占めるが、民有林が多く、保有する山林が10ha未満の 小規模経営の林家が大半を占めている。
- 国土の約4分の3を山地・丘陵地が占める山がちな地形でもあり、木材の伐採・搬出にか かるコストが高い。
- 近年は木材価格が低迷しているため、国産材の生産が停滞している。
- 山村では過疎化が進んでおり、林業従事者の高齢化と後継者不足が深刻である。

## (2)世界有数の木材輸入国

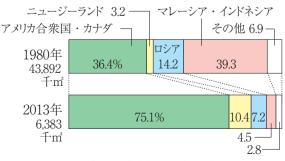
- 高度経済成長期に木材需要が急増したため、木材の輸入量が増加した。
- 輸入材は安価なため輸入量が次第に増加し、世界有数の木材輸入国となっている ※日本は世界第4位の木材(原木+製材)輸入国(2014年)である。

## ▼日本の木材自給率の推移



林野庁資料による。

#### ▼日本の木材輸入先の変化



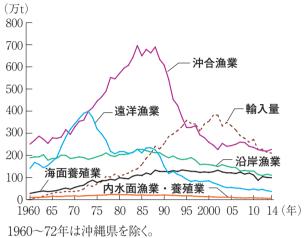
農林水産省「木材需給報告書」などによる。

### ◆日本の水産業

#### (1)日本の水産業の特色

- 日本の近海は潮境(潮目)や大陸棚を有する好漁場となっており、また、水産物を食する文化もあるため、日本は世界有数の漁業国である。
- 1970年代以降,世界各国が排他的経済水域を設定し(1977年に日本も設定),操業規制を強化し,遠洋漁業の漁場が狭められため,また,1970年代の2度の石油危機で燃料費が高騰したため,遠洋漁業の漁獲量が急減した。
- 日本近海での操業が中心となったが、沖 **合漁業・沿岸漁業**も漁獲量が減少してき

#### ▼日本の漁業種類別漁獲量の推移



農林水産省および農林統計協会の資料による。

たため、近年は<mark>養殖業や栽培漁業</mark>などに取り組み、「**獲る漁業から育てる漁業へ**」の転換がはかられている。

• 漁業従事者の高齢化、後継者不足も問題化している。

### (2)世界有数の水産物輸入国

- 漁獲量の減少に伴い、水産物の輸入が急増している。日本は世界有数の水産物輸入国であり、**エビ・マグロ・サケ・マス**などの輸入額・輸入量が多い。「**獲る漁業から買う漁業へ**」の転換も見られる。
- 東南アジアなどでは、主に日本への輸出用**エビ**養殖池造成のため、**マングローブ林**が破壊 されている。

#### ▼日本の水産物輸入相手国

国名	主な水産物
中国	マグロ・カジキ類、エビ
アメリカ合衆国	タラ類, サケ・マス類, カニ, 魚粉
チリ	サケ・マス類、魚粉
タイ	エビ,魚粉
ロシア	カニ、サケ・マス類

統計年次は2015年。

財務省「貿易統計」による。

# 食料問題

#### ◆食料問題

#### (1)食料需給の地域的偏在

- 人口の増加が著しい発展途上地域では、<u>食料供給が人口増加に追いつかず</u>、慢性的な食料 不足に陥っている所もある。
- 先進国では、<u>大量の穀物を飼料として与えて育てる畜産物の消費が多く</u>, **飽食状態**になっている。
  - ※世界の約4割の穀物が飼料に利用されており、飼料用の穀物が発展途上国で消費されれば、発展途上国の食料問題は解決されるともいわれている。
- アメリカ合衆国では、近年、バイオエタノールの原料として、トウモロコシの消費が増えている。

#### (2)食料問題解決のための取り組み

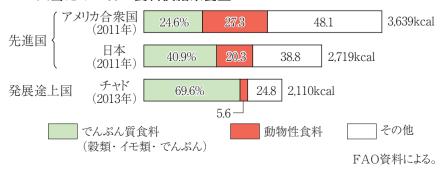
- アメリカ合衆国を初めとする先進国は、食料不足の発展途上国に対して、食料援助を行ってきた。但し、これは受け入れ国の農業の発展を阻害する場合がある。
- 先進国はODA(政府開発援助)などを通じて、発展途上国の農業環境の整備を進めている。 NGO(非政府組織)も農業指導などを行っている。
- FAO (国連食糧農業機関) は、各国の食料事情の改善に努めている。

### ◆発展途上国の食料問題

#### (1)発展途上国の食料問題

- アジア、南アメリカ…緑の革命の実施などもあって、人口増加以上に食料生産量は伸びているが、栄養不足人口は多い。
- •中・南アフリカ…急激な人口増加に食料生産が追いつかず、食料不足や飢餓が発生している国もある。
  - ※FAOは「栄養不足人口」を「食物から摂取する熱量が、軽労働に従事した際の一定の体格の維持を前提として、国や民族ごとに算出される基準値よりも低い状態にある人々の数」と定義している。

#### ▼1人当たり1日の食料供給栄養量



☆ ここに着目

先進国は発展途上 国に比べ,食料供 給栄養量が多く, 動物性食料の割合 が高い。

#### (2)インドの食料問題

- インド政府は人口増加に対応するため、食料増産を推進してきた。
- 1960年代から<mark>緑の革命</mark>が実施され、高収量品種の導入、栽培技術の改善、灌漑施設の整備、 区画整理、農薬・肥料・農業機械の利用、協同組合の設立などが行われ、食料生産量が増加した。
- 人口も大幅に増加したため、1人当たりの食料生産量の伸びは小さい。
- <u>緑の革命は農民間の貧富の格差を拡大させることになった</u>ため、食料や資源の配分が不適切となり、インドでは栄養不足人口が多い。

#### (3)サハラ以南のアフリカの食料問題

• 1960年代に独立した国が多いサハラ砂漠以南の地域では、短期間に死亡率が低下し、爆発的に人口が増加した。人口急増に食料増産が追いつかず、食料不足に悩まされている国が多い。

#### ◎食料問題の要因

#### <自然的要因>

• 降水量の変動が激しく、しばしば干ばつや大雨な どの被害を受ける。

#### <人為的要因>

- 民族対立や内戦のため、農地が荒廃している。
- 外貨獲得のために、穀物などの自給用作物の栽培よりも、商品作物の栽培が優先される。
- 食料が輸入されたり、援助食料が安価で流通することで、現地の農業の発展が阻害されている。

## ◆先進国の食料問題

#### (1)先進国の食料問題

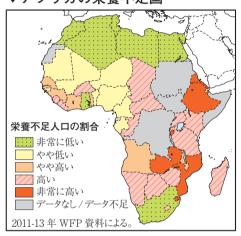
#### ○農産物の過剰生産

- 20世紀後半以降, 化学肥料・農薬や大型機械の導入などで, 農産物の大量生産が可能となった。
- 農業保護政策などもあり、国によっては農産物が生産過剰に陥った。余剰生産物は輸出される。
- 安価な食料が豊富に供給される一方で、廃棄処分される食品も多い。
  - →日本のように農産物の国際競争力が低い国では、国内農業が衰退し、食料自給率も低い。

### ◎食品の安全性

• 食品添加物や残留農薬. 遺伝子組み換え作物. ダイオキシン汚染などが問題となっている。

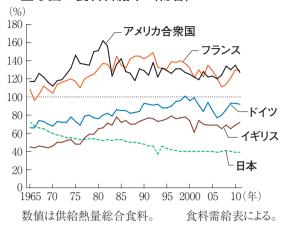
### ▼アフリカの栄養不足国



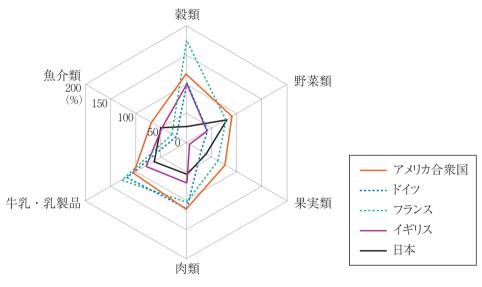
#### 「見本」 高校コース 本科 地理 要点学習

#### (2)日本の食料問題

- 日本は第二次世界大戦後、とくに高度成長 ▼主な国の食料自給率(総合) 期以降、食生活の欧米化が進み、米・野 菜・魚中心の伝統的な日本食から、パンや 肉を多く消費する食生活に変化した。
  - →日本の食料自給率は大きく低下し、主要 先進国の中で最も低くなっている。
- 日本は食料の多くを海外からの輸入に依存 している。食料の輸入の際に、航空機や船 舶を利用し、輸送距離も長いため、フード =マイレージの総量が世界一といわれ、食 料輸送に伴う環境への負荷も大きい。



#### ▼主な国の食料自給率(品目別)



統計年次は2011年。

- 食料需給表などによる。
- 近年, 自給率の向上をめざし, **地産地消や食育**の促進, 農業基盤の向上などが行われている。
  - → 「その地域でつくられたものを、その地域で消費する」という地産地消の考え方・行動 は、食料自給率の向上やフード=マイレージの削減に有効である。

# **ニュラム** バーチャルウォーター

食料の輸入国(消費国)は、その食料を生産するのに使われた水も間接的に輸入したことに なる。この水をバーチャルウォーター(仮想水)という。

トウモロコシを 1 kg 生産するには、1,800 l の水が必要といわれる。トウモロコシなどの 穀物をエサとする牛の肉を 1 kg 生産するには,その約 20,000 倍の水が必要といわれる。日 本は食料を外国からの輸入に多く依存しているが、その食料の生産に使われた水も輸入してい るとも考えられる。

# 練習問題

- **1** 次の問に答えよ。
- 問1 日本の農牧業について述べた次の文章中の1~5 ( ) に適する語句を記せ。 日本では、九州から北海道まで全国で稲作が行われている。米の自給達成のため 政府は ( 1 ) 制度を定め、農家からの米の買い入れ価格を保証した(1995年廃 止)。しかしその後、食生活の変化とともに国民の米離れが進んで生産過剰となっ たため、1971年から本格的な ( 2 ) 政策を採ってきた。

一方、果物・肉類・乳製品・野菜などの需要は増加している。その結果、日本の農業の土地利用や農業経営は大きく変化した。経営の合理化や農地の借地化が進み、小規模な農家は以前よりも減少してきている。日本では、狭い耕地から多くの収量を得るために、多くの肥料や労働力を投下する、(3)的農業が行われている。

日本では、従来は販売農家を専業農家と兼業農家に区分し、兼業農家の中でも農業外の収入が主で農業収入の割合の低い第2種兼業農家が多くを占めてきた。1995年から日本の農家の区分が変更され、販売農家は、農業所得が主で、65歳未満で農業従事60日以上の者がいる(4)農家、農業外所得が主であるが、65歳未満で農業従事60日以上の者がいる準(4)農家、それ以外の副業的農家に分けられている。

日本は、農業生産の維持と保護のため、農畜産物の輸入を従来制限してきたが、GATTのウルグアイ=ラウンドの合意を受けて、1991年に( 5 )とオレンジが輸入自由化され、95年には米が部分的に輸入自由化された。

- **問2** 日本の林業について述べた(1) $\sim$ (3)の各文中の( ) から適する語句を選び、 それぞれ記せ。
  - (1) 日本の森林は(国有林・民有林)が多く、小規模経営の林家が大半を占める。
  - (2) 日本は山がちな地形であり、木材の伐採・運搬にかかるコストは(高い・低い)。
  - (3) 高度経済成長期以降,世界有数の木材の(輸入国・輸出国)となっている。
- **問3** 日本の水産業について述べた(1)~(3)の各文の下線部の正誤を判定し、正しい場合には○を、誤っている場合には訂正語句を記せ。
  - (1) 日本は水深の浅い<u>海溝</u>や潮境を有する好漁場に面しており、世界有数の漁業国となっている。
  - (2) 2度の石油危機による燃料費の高騰も、日本の遠洋漁業の衰退の一因である。
  - (3) 近年は「獲る漁業」から養殖業・沿岸漁業などの「育てる漁業」への転換がはかられている。

# 【解答欄】

	1	2	
問 1	3	4	
	5		
問 2	(1)	(2)	
IDJ Z	(3)		
問 3	(1)	(2)	
	(3)		

- 2 食料問題に関する下記の問に答えよ。
- **問1** 南アジア・東南アジア・ラテンアメリカなどの発展途上国では、増加する人口に対応するため、稲や小麦の高収量品種の導入を中心とした農業の技術革新が行われてきた。この一連の改革を何というか。
- **問2** アフリカ諸国の食料問題に関する文として適当でないものを、次のア~エの中から1つ選び、記号を記せ。
  - ア サヘル地方は、この地域の急激な人口増加のほか、干ばつなどの影響によって、食料不足が深刻である。
  - **イ** 民族対立や内戦で、多くの農地が荒廃し、食料生産が不足している国もある。
  - ウ アフリカ諸国の自給用作物栽培には、先進国のアグリビジネスの進出が活発 である。
  - エ 国際機関などからの援助による食料が安価で流通することで、現地の農業の 発展が阻害される場合もある。
- **問3** 先進国の食料問題に関する文として適当でないものを、次のア〜エの中から 1つ選び、記号を記せ。
  - ア 遺伝子組み換え作物の生産など、食品の安全性が問題になっている。
  - **イ** 一部の国では、国内農業が衰退し、食料自給率が低くなっている。
  - **ウ** 食料が豊富に供給されるため廃棄処分される食品も多く、飽食状態になっている。
  - エ 外貨獲得のため、穀物などの栽培よりも商品作物の栽培が優先される。
- **問4** 食料自給率の向上にも通じる,「その地域でつくられたものを,その地域で消費する」という考え方を何というか。
- 問5 次の表は4ヵ国の穀類自給率・小麦生産量について示したものである。表に関する下の $(1)\cdot(2)$ の間に答えよ。

国名	穀類自給率 (2011年)	小麦生産量 (2014年)		
A	21%	852千t		
В	118	55,395		
С	103	27,785		
フランス	177	38,967		

FAO資料などによる。

- (1) 表中のA~C国は、アメリカ合衆国・ドイツ・日本のいずれかである。A~C に当てはまる国名をそれぞれ記せ。
- (2) 表中のA国以外は穀類自給率が100%以上だが、過剰に生産された穀物の在庫は、廃棄処分以外で、どのように減らされているか簡潔に記せ。

# 【解答欄】

問 1			問 2
問 3			問 4
	(1)	A	В
問 5	(1)	С	
	(2)		

#### 3 | 資料問題対策

今回は資料問題の解法を学習していこう。次の 例題 を確認し、 解法の研究 を読 みながら空欄を埋めていき、最後に 例題 に取り組もう。

### 例題 -

次の表は、カナダ・日本・ブラジル・マレーシアの4カ国の林業に関する統計 である。表中のAに該当する国名を答えよ。

	森林面積* (万ha)	国土面積に占める 森林面積の割合* (%)	木材伐採量 (万㎡)	木材伐採量に 占める針葉樹の 割合(%)
A	34,716	34.8	15,426	82.6
В	2,217	67.0	2,041	0.8
С	49,551	58.2	26,765	18.0
D	2,496	66.0	2,113	86.2

統計年次は、\*は2013年、その他は2014年。 FAO資料などによる。

#### 解法の研究

#### STEP1 ■■資料の把握■■ 資料の概要と注目すべき所を確認しよう

林業に関する4つの指標から、国名を判定する問題である。まずは「森林面積」と 「木材伐採量に占める針葉樹の割合」に注目し、A~Dの特徴を把握しよう。

### STEP2 ■■資料の読み取り■■ 資料から読み取れることを確認しよう

- A:「森林面積」が大きく、「木材伐採量に占める針葉樹の割合」が高い。
- B:「木材伐採量に占める針葉樹の割合」がきわめて低い。
- C: 「森林面積 | が大きく、「木材伐採量に占める針葉樹の割合 | が低い。
- D: 「木材伐採量に占める針葉樹の割合」が高い。

#### STEP3 ■■知識の整理■■ 問題を解くのに必要な知識の整理をしよう

- (1) AとCは国土面積が大きい【①か【② 】のどちらか である。「森林面積」と「国土面積に占める森林面積の割合」から国土面積を求め ることができる。
- (2) 針葉樹は【③ 】帯もしくは温帯の北部に分布するので「木材伐採量に占 める針葉樹の割合 | が高いAとDは、国土の大部分が【③ 】帯に属する 】もしくは温帯に属する【④ 】である。
  - なお、【③ 】帯はほぼ北半球にのみ分布することも押さえておこう。
- (3) 「木材伐採量に占める針葉樹の割合」がきわめて低いBは、国土のほとんどが 【⑤ 】帯に属しているマレーシアと考えられる。

#### STEP4 ■■解答の選定■■ 問題の条件をもう1度確認し、解答しよう

**STEP3** の(1)・(2)から、「森林面積」が大きく、かつ、「木材伐採量に占める針葉樹 1.

(2)からDは【④ 】と判断する。

因みに、【① 】の「国土面積に占める森林面積の割合」が比較的低い理 由として、国土の高緯度地方の広い範囲は無樹木気候のツンドラ気候区(ET)に属 していることや、近年の木材の大量伐採の影響などが挙げられる。

# 資料判読のポイント

	森林面積* (万ha)	国土面積に占める 森林面積の割合* (%)	木材伐採量 (万㎡)	木材伐採量に 占める針葉樹の 割合(%)	
А	34,716	34.8 国土面	責大5,426	高 82.6	
В	2,217	67.0	2,041	0.8 低=熱荷	帯
С	49,551	58.2 国土面	責(大)6,765	18.0	
D	2,496	66.0	2,113	高 86.2	

統計年次は、\*は2013年、その他は2014年。 FAO資料などによる。

_			
_			

#### 練習問題 解答

1

問 1 食糧管理 2 減反 3 集約 4 主業 5 牛肉

問2 (1) 民有林 (2) 高い (3) 輸入国

問 3 (1) 大陸棚 (2) ○ (3) 栽培漁業

2

問1 緑の革命 問2 ウ 問3 エ 問4 地産地消

問5 (1) A 日本 B アメリカ合衆国 C ドイツ

(2) 穀物の不足している国へ輸出している。

#### 解説

- 問5 (1) 穀類自給率が著しく低いAは、米はほぼ自給しているが、小麦・トウモロコシの自給率はきわめて低い日本である。小麦生産量が最大のBは、人口が3億2,412万人(2016年)と多く、世界最大の小麦輸出国(2013年)となっているアメリカ合衆国である。Cはドイツである。ドイツはEU最大の工業国であるが、穀類自給率は100%を達成し、小麦の輸出国となっている。因みに、フランスはEU最大の農業国である。
- (2) 穀物自給率が100%を超える先進諸国は、主に穀物の不足している国へ輸出することによって、余った穀物の在庫を減らしている。

3

#### 空欄の解答

① カナダ ② ブラジル ③ 冷 ④ 日本 ⑤ 熱

#### 例題 の解答

カナダ

M - E - M - O

# 確認問題

次の問に適する答を、それぞれの【記録	語群】の中から	1つ選び	○をつけよ。
--------------------	---------	------	--------

| 間に週りる合を, (1) 日本の農業は「 」農業であり、土地生産性は高いが労働生産性は低いとい われる。[ ] に入る語句はどれか。 【語群】 企業的 集約的 粗放的 (2) 日本の農家は農業以外からの収入を得る農家が大半であり、販売農家の中でも 「 」が最も多い。[ 」に入る語句はどれか。 【語群】 主業農家 準主業農家 副業的農家 (3) 1995年の [ ] の施行に伴い、米の流通が自由化された。[ ] に入る 語句はどれか。 【語群】 減反政策 新食糧法 食糧管理法 (4) 日本の農牧業は地域ごとに特色があり、九州・沖縄地方は農業産出額に占める [ ] の割合がとくに大きい。[ ] に入る語句はどれか。 【語群】 米 野菜 畜産 (5) 日本の漁業の中心は、1970年代半ば以降「 」である。「 」に入る語 句はどれか。 【語群】 沿岸漁業 遠洋漁業 沖合漁業 (6) 近年, 日本の漁業は, [ ] と買う漁業への転換が見られる。[ ] に入 る語句はどれか。 【語群】 売る漁業 育てる漁業 獲る漁業 (7) 次の3つの作物のうち、アメリカ合衆国において、近年、バイオエタノールの原 料として消費が増えている作物はどれか。 【語群】 米 大豆 トウモロコシ

(8) 1945年に設立された、世界各国の食料事情の改善、食料・農産物の生産・供給の

【語群】 FAO NGO ODA

改善などを目的とする国連の専門機関はどれか。

(9)	発展途上	国の食料不足の	の要因として,	外貨獲得の	)ため[	]の栽培が優先さ
1	しるといっ	た作物生産の位	<b>編りが挙げられ</b>	<b>いる。</b> [	]に入る語	吾句はどれか。
	【語群】	自給用作物	商品作物	飼料作物		

(10) 日本は食料の多くを輸入に依存しているため、輸送距離が関係する [ ] の 総量が世界一といわれる。 [ ] に入る語句はどれか。

【語群】 地産地消 バーチャルウォーター フード=マイレージ

### 確認問題 解答

- (1) 集約的 (2) 副業的農家 (3) 新食糧法 (4) 畜産 (5) 沖合漁業
- (6) 育てる漁業 (7) トウモロコシ (8) FAO (9) 商品作物
- (10) フード=マイレージ

# [見本] 高校コース 本科 地理 添削問題

※ここからは『Z Study 解答用紙編』の地理「農林水産業と食料問題」3 枚目にご記入ください。

3

世界の林業・水産業に関する下記の間に答えよ。

(25点)

- **問1** 気候帯ごとの森林の特徴に関する次の文章  $\mathbf{X} \sim \mathbf{Z}$  を読み、下の(1)・(2)に答えよ。
  - X 同一種の樹木から成る純林が多く、伐採・搬出が容易である。加工に適した 材質の(1)であるため、パルプ材や建築材などの用材としての利用が進み、 林業が盛んである。
  - Y 樹種の多い密林を形成し、交通も不便であることから、商品価値の高い有用樹を選別・伐採・搬出するのに困難を極める。また加工に適さない材質の(2)が多い。しかし、化石燃料の利用が普及していない地域では薪炭材としての伐採も多く、森林破壊に拍車をかけている。
  - **Z** 都市に近く、歴史的に古くから開発が進んでいるため、自然林の消失も早くから見られたが、現在では植林に基づく人工林が広く見られる。このため本来の樹種が姿を消し、育成が容易な樹種に均一化する傾向が強い。
  - (1) 文章  $X \sim Z$  の森林が卓越する気候帯をそれぞれ記せ。(6点)
  - (2) 文章中の1・2 ( ) に適する語句の組合せとして適当なものを,次のア〜 エの中から1つ選び、記号を記せ。(2点)
    - ア 1一軟木, 2一硬木 イ 1一硬木, 2一軟木
    - ウ 1 針葉樹. 2 硬葉樹 エ 1 硬葉樹. 2 針葉樹
- 問2 次の表は、日本の木材(丸太・製材)の輸入先上位国であるアメリカ合衆国・カナダ・スウェーデン・中国・フィンランド・マレーシア・ロシアについて、順位 (輸入額順;2014年)と森林面積(2013年)、伐採された木材のうちの針葉樹の割合 (2014年)を示している。このうち、aとdの国名をそれぞれ記せ。(4点)

国名	順位	森林面積(万ha)	針葉樹の割合 (%)
a	1位	34,716	82.6
アメリカ合衆国	2位	30,955	67.6
b	3位	81,501	66.7
С	4位	2,222	79.7
中国	5位	20,524	28.4
スウェーデン	6位	2,807	90.8
d	7位	2,217	0.8

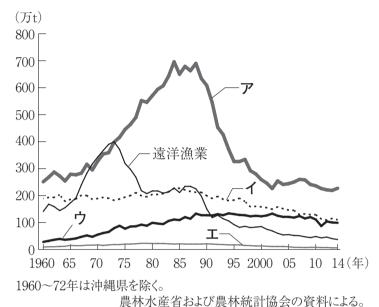
財務省「貿易統計」・FAO資料などによる。

# [見本] 高校コース 本科 地理 添削問題

問3 日本・中国・韓国などが面する、世界最大の漁獲量を持つ漁場名を答えよ。

(2点)

問4 次のグラフは、日本の漁業種類別漁獲量の推移を示したものである。グラフ中のア〜エは海面養殖業、沿岸漁業、沖合漁業、内水面漁業・養殖業のいずれかである。下の(1)・(2)に答えよ。



- (1) 沖合漁業を示しているものを、グラフ中の $\mathbf{P}$ ~**エ**の中から1つ選び、記号を記せ。(2点)
- (2) 遠洋漁業による漁獲量は、1970年代半ば以降急激に減少した。この理由について、2つの観点から、併せて60字以内で説明せよ。(6点)
- 問5 日本では漁獲量の減少に伴い、「獲る漁業」から「育てる漁業」への転換が進んでいる。「育てる漁業」の中でも、人工孵化した稚魚を河川や海に放流して、自然の中で魚を成長させてから捕獲する漁業を何というか。(3点)

3

世界の林業・水産業に関する下記の問に答えよ。

(25点)

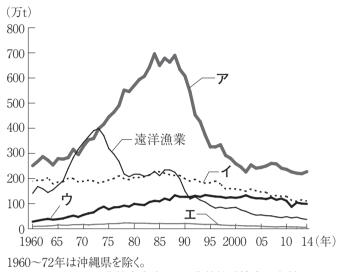
- **問1** 気候帯ごとの森林の特徴に関する次の文章  $\mathbf{X} \sim \mathbf{Z}$  を読み、下の $(1) \cdot (2)$ に答え よ。
  - X 同一種の樹木から成る純林が多く、伐採・搬出が容易である。加工に適した 材質の(1)であるため、パルプ材や建築材などの用材としての利用が進み、 林業が盛んである。
  - Y 樹種の多い密林を形成し、交通も不便であることから、商品価値の高い有用樹を選別・伐採・搬出するのに困難を極める。また加工に適さない材質の(2)が多い。しかし、化石燃料の利用が普及していない地域では薪炭材としての伐採も多く、森林破壊に拍車をかけている。
  - Z 都市に近く、歴史的に古くから開発が進んでいるため、自然林の消失も早くから見られたが、現在では植林に基づく人工林が広く見られる。このため本来の樹種が姿を消し、育成が容易な樹種に均一化する傾向が強い。
  - (1) 文章  $X \sim Z$  の森林が卓越する気候帯をそれぞれ記せ。(6点)
  - (2) 文章中の1・2 ( ) に適する語句の組合せとして適当なものを,次のア〜 エの中から1つ選び,記号を記せ。(2点)
    - ア 1一軟木. 2一硬木 イ 1一硬木. 2一軟木
    - ウ 1 一針葉樹、2 一硬葉樹 エ 1 一硬葉樹、2 一針葉樹
- 問2 次の表は、日本の木材(丸太・製材)の輸入先上位国であるアメリカ合衆国・カナダ・スウェーデン・中国・フィンランド・マレーシア・ロシアについて、順位 (輸入額順;2014年)と森林面積(2013年)、伐採された木材のうちの針葉樹の割合 (2014年)を示している。このうち、aとdの国名をそれぞれ記せ。(4点)

国名	順位	森林面積(万ha)	針葉樹の割合 (%)
a	1位	34,716	82.6
アメリカ合衆国	2位	30,955	67.6
b	3位	81,501	66.7
С	4位	2,222	79.7
中国	5位	20,524	28.4
スウェーデン	6位	2,807	90.8
d	7位	2,217	0.8

財務省「貿易統計」・FAO資料などによる。

# [見本] 高校コース 本科 地理 解答解説

- 問3 日本・中国・韓国などが面する、世界最大の漁獲量を持つ漁場名を答えよ。 (2点)
- 問4 次のグラフは、日本の漁業種類別漁獲量の推移を示したものである。グラフ中のア〜エは海面養殖業、沿岸漁業、沖合漁業、内水面漁業・養殖業のいずれかである。下の(1)・(2)に答えよ。



- 農林水産省および農林統計協会の資料による。
- (1) 沖合漁業を示しているものを、グラフ中の $\mathbf{P} \sim \mathbf{I}$ の中から1つ選び、記号を記せ。(2点)
- (2) 遠洋漁業による漁獲量は、1970年代半ば以降急激に減少した。この理由について、2つの観点から、併せて60字以内で説明せよ。(6点)
- 問5 日本では漁獲量の減少に伴い、「獲る漁業」から「育てる漁業」への転換が進んでいる。「育てる漁業」の中でも、人工孵化した稚魚を河川や海に放流して、自然の中で魚を成長させてから捕獲する漁業を何というか。(3点)

# [見本] 高校コース 本科 地理 解答解説

### 解答

- 問 1 (1) X 冷帯 Y 熱帯 Z 温帯 (2) ア
- 問2 a カナダ d マレーシア
- 問3 北西太平洋漁場(太平洋北西部漁場)
- 問4 (1) ア
- (2) 排他的経済水域の設定国が増加して遠洋漁業の漁場が狭められたこと、また、2度の石油危機で燃料費が高騰したことによる。(57字)
- 問 5 栽培漁業

### 解説

**問1** (1) **X** 「同一種の樹木から成る」「林業が盛ん」などから、**冷帯林**について の説明文とわかる。伐採が容易なため安価な材木が大量に得られるので、大規模な 開発が進んでいる。シベリア地方やカナダなどに大陸横断鉄道が敷設されて以来、 消費地である先進国の都市への輸送力が増強された。

なお、森林を構成する樹木の中でも、商品価値の高いものは**有用樹**と呼ばれる。 冷帯林に多い、同一種類の樹木から成る**純林**の場合、有用樹の伐採が容易なので、 経済的に有利な森林(経済林)となるが、多くの樹種で構成される森林ではその中 から有用樹だけを切り出すことは困難であるため、コストがかかる。

Y 「樹種の多い密林」などから、熱帯林についての説明文とわかる。有用樹の選別・伐採、森林の奥からそれを搬出する不便性などからコストが高くつき、20世紀初頭までは、住民が薪炭材として利用するほかは、国際的に商業利用されることはなかった。しかし20世紀後半になって先進国の住宅建築ラッシュなど木材需要の急増を受けて、先進国資本が入っての用材伐採が増加してきた。ベニヤ板などの合板に利用されるラワンや家具材のチークを初め、特有の用途を持った有用樹も多く、希少種ゆえの高級材としての需要も高まっている。

なお、木製加工品の素材となるものを**用材**といい、これに対して、薪や木炭などに用いられるものを**薪炭材**という。2014年の世界の木材生産量(伐採量)は370.037万㎡で、このうちの50.4%は薪炭材である。

**Z** 「都市に近く」「古くから開発が進んでいる」などから、温帯林についての説明 文とわかる。温帯の中でも、低緯度の地域ではシイ・カシ・クスなどの**常緑広葉樹** (照葉樹)、中緯度の地域ではブナ・ナラ・クリなどの**落葉広葉樹**、高緯度の地域で は落葉広葉樹と針葉樹との混合林が見られる。温帯地域は先進国が多く、建材・家 具材・船材のほかパルプ材・樽材・枕木・坑材などの需要も多い。このため自然林 の多くが消失し、人工的に植林されている所が多い。こうした人工林の造成は育成 林業と呼ばれ、日本でも盛んに行われている。

また、日本を初め、先進国の林業は高齢化や従事者の減少、コスト高の問題を抱 えており、国内の木材の需要を支えるため、先進国は外材の輸入に依存している。 3

世界の林業・水産業に関する下記の間に答えよ。

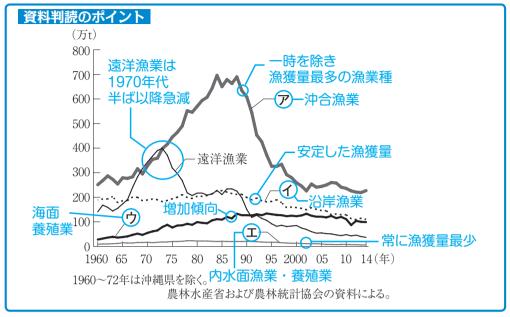
(25点)

- **問1** 気候帯ごとの森林の特徴に関する次の文章  $\mathbf{X} \sim \mathbf{Z}$  を読み、下の(1)・(2)に答えよ。
  - X 同一種の樹木から成る純林が多く、伐採・搬出が容易である。加工に適した 材質の (1) であるため、パルプ材や建築材などの用材としての利用が進み、 林業が盛んである。
  - Y 樹種の多い密林を形成し、交通も不便であることから、商品価値の高い有用樹を選別・伐採・搬出するのに困難を極める。また加工に適さない材質の(2)が多い。しかし、化石燃料の利用が普及していない地域では薪炭材としての伐採も多く、森林破壊に拍車をかけている。
  - Z 都市に近く、歴史的に古くから開発が進んでいるため、自然林の消失も早くから見られたが、現在では植林に基づく人工林が広く見られる。このため本来の樹種が姿を消し、育成が容易な樹種に均一化する傾向が強い。
  - (1) 文章  $X \sim Z$  の森林が卓越する気候帯をそれぞれ記せ。(6点)
  - (2) 文章中の1・2 ( ) に適する語句の組合せとして適当なものを,次のア〜 エの中から1つ選び. 記号を記せ。(2点)
    - ア 1-軟木. 2-硬木 イ 1-硬木. 2-軟木
    - ウ 1一針葉樹、2一硬葉樹 エ 1一硬葉樹、2一針葉樹
- 問2 次の表は、日本の木材(丸太・製材)の輸入先上位国であるアメリカ合衆国・カナダ・スウェーデン・中国・フィンランド・マレーシア・ロシアについて、順位 (輸入額順;2014年)と森林面積(2013年)、伐採された木材のうちの針葉樹の割合 (2014年)を示している。このうち、aとdの国名をそれぞれ記せ。(4点)

国名	順位	森林面積(万ha)	針葉樹の割合 (%)
a	1位	34,716	82.6
アメリカ合衆国	2位	30,955	67.6
b	3位	81,501	66.7
С	4位	2,222	79.7
中国	5位	20,524	28.4
スウェーデン	6位	2,807	90.8
d	7位	2,217	0.8

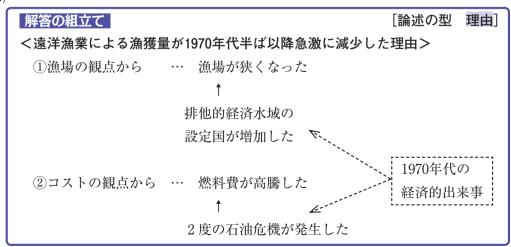
財務省「貿易統計」・FAO資料などによる。

問 4



(1) 沖合漁業とは1日行程以上の漁場へ中型船で出漁し、自国の近海で操業を行う漁業である。遠洋漁業は1回の航海が数カ月~1年に及び、大型船で他国の沿岸近くまで出漁して、近代的装置で大量に漁獲する漁業である。1973年に始まる第3次国連海洋法会議以降、200海里の排他的経済水域(漁業専管水域)を設定する国が多くなり(日本は1977年に設定)、日本の遠洋漁業は大きな痛手を受けた。代わって日本の漁業水域内で操業する沖合漁業が1970年代から1980年代前半にかけて漁獲量を増やし、日本の漁業を支えてきた。しかし、近隣各国の乱獲などもあって、日本近海の魚が減ってきたため、1989年以降、沖合漁業の漁獲量も減り続けている。よって、沖合漁業に該当するのは図中のアである。なお、ほぼ一定の水準にあるイは沿岸漁業、近年若干の減少も見られるが、期間を通して増加傾向であったウは海面養殖業、漁獲量が最も少ない工は内水面漁業・養殖業である。

(2)

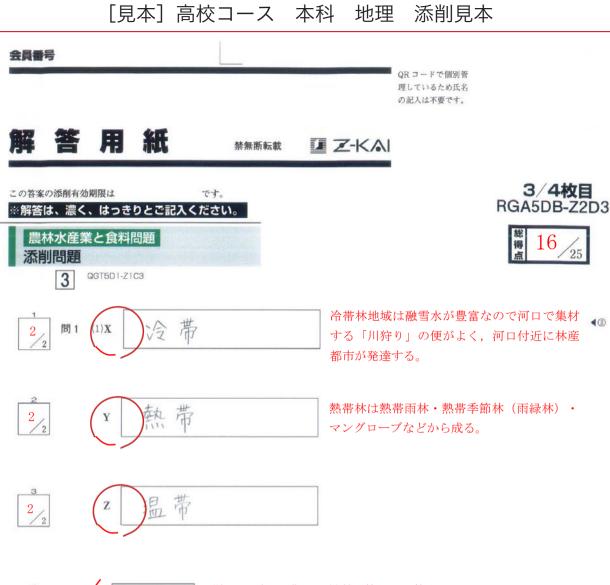


# [見本] 高校コース 本科 地理 解答解説

日本の遠洋漁業は1970年代半ば以降,漁獲量が急激に減少した。この主な理由は2つあり、1つは(1)で述べたように、多くの国が200海里の排他的経済水域を設定して、域内の水産資源を守るようになり、結果として遠洋漁業の漁場が狭められたためである。もう1つは、1973年に第1次石油危機が発生し(79年には第2次石油危機)、これ以降、燃料費が高騰したためである。

問5 日本では「獲る漁業」から「**育てる漁業**」への転換をはかろうとしており、 稚魚を浅い海や川・湖などで人工的に管理・育成する**養殖業**や、人工孵化した稚魚 を放流して自然の中で育てる<mark>栽培漁業</mark>が近年盛んとなっている。なお、栽培漁業は 将来の水産資源を増やす目的で行われるのに対し、養殖業は業者が漁獲量を増やす ことを目的として行われる。

なお、水産物の輸入量の増加から、日本の漁業は「買う漁業」に移行しているともいわれる。1980年代半ばまでは100%近くを誇った日本の魚介類の自給率は、2014年は55%であり、日本は世界有数の水産物輸入国となっている。因みに、輸入金額が大きいのは、エビ・マグロなどの比較的高級な魚介類やサケ・マスなどである。





0)

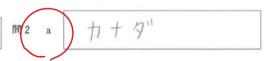


"加工に適した" 1は材質が軟らかい軟木で、

"加工に適さない" 2 は材質が硬い硬木である。

2

01



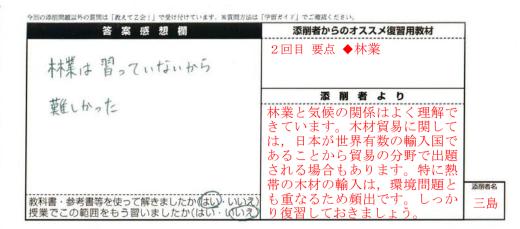




フィンランド

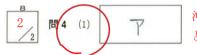
針葉樹の割合が非常に少ない国=熱帯林地域 に位置するdは、マレーシアである。 **4**①

# [見本] 高校コース 本科 地理 添削見本





この漁場は漁獲される魚種も非常に豊富である。



沖合漁業は日本の漁業中心だが,近年乱獲などにより漁獲量が急減している。



無介類の輸入増加は遠洋漁業衰退の結果とも言える。日本の漁業の変化のもう一つの理由として、1970年代に起こった石油危機で燃料費が高騰したことについて述べたい。(-3)

